

# Frente



2022.6

vol.89

## 事業報告

- ヒトとゴリラと男と女  
～ゴリラから生き方を学ぶ～
- 母娘関係に悩む女性のためのグループ
- パートナーとの関係で悩んでいる  
女性のためのグループ

## 事業案内

- フレンテまつり2022オンライン  
with 謎解きゲーム ジェンダー城のナゾ!3
- アソボ・マナボ・タノシソウブン  
みんなの描いた絵で“自分らしさ”の森をつくろう
- わたしたちの<もやもや>を考える vol.1 おかね編  
おひとりさま女性がハッピーに生きるために
- 種まきプロジェクトIII“社会の課題”編  
デートDV防止プログラム  
ファシリテーター養成講座
- 三重県内男女共同参画連携映画祭2022  
ほか

## 新連載!

- 荻原くるみの「紹介したい企業！」  
第1回 株式会社山下組(志摩市)
- フレンテみえではこんなこともやっています  
第1回 オリジナルの絵本をつくりました

「らしさ」の呪いは、自分で解ける。



男女共同参画フォーラム「みえの男女2022」  
「いまこそ身軽に、シンプルに、本当のあなたになる」

ホールイベント

# ひと 男女共同参画フォーラム ～みえの男女2022～

「いまこそ身軽に、シンプルに 本当の『あなた』になる」

スペシャルトーク(ホールイベント)

開催日:3月5日(土)

女らしく・男らしく・母親らしく・父親らしく…。私たちにまとりつく「らしさ」たち。  
普段からこの無意識に抱えている「固定観念への囚われ」に気付き、一人ひとりがそれを武器にすることをやめられれば、女性も男性もきっと多くの困難を和らげ穏やかな時間を取り戻せるのでは…。

フレンテみえが、3月8日の「国際女性デー」に向けて開催している「男女共同参画フォーラム」。今回は、コロナ禍の今だからこそすべての人が「自分らしく」前へすすんでいくためのヒント、エール、メッセージを様々な企画を通してお届けしました。

## 犬山 紙子さん スペシャルトーク

エッセイやコラムの執筆、テレビでのコメンテーターなど様々な場で活躍されている犬山さんに、ご自身の経験や多くの取材から得られたお話、そして今回のために募集した「らしさのモヤモヤ体験談」で寄せられたエピソードなどをもとに、たっぷりとお話をうかがいました。

フォーラムで会場にゲストをお招きするのは3年ぶり。今回はそのなかから、家庭でのジェンダーギャップのお話を中心に、一部をご紹介します！



### 日常に潜む「らしさの圧」

人を見るとき「この人ってこんなことが好きなんだね」とその人の個性をみて判断することがありますが、この人は「男(女)だからこうだよ」って試してみても実はたくさんありますよね。でも、自分がそんな風に性別や属性でカテゴライズされて、あなたはこうありなさいって言われると、本当に辛くなってしまいます。ぎゅうぎゅうと押し込められて、自分の「らしさ」ってなんだっけ、自分らしく生きるのってよくわからないやっ、とどんどん思考停止してしまうようなこともあるなと感じています。

私が結婚する時、ある先輩から「仕事が減る可能性があるから結婚しましたの後に“仕事はやりたいです”って言った方がいいよ」とアドバイスを受けました。出産の後、様々な場面で「もう一人も頑張ってる」って言われるんです。子どもを何人持つかはその人のプライバシーに関わることだし、女性は言わば命がけで子どもを産むので、簡単にもう一人なんていうのは本当におかしなことだと思います。そしてそれが「善意」で

コーティングされているから余計難しい。この人を幸せにしてあげようと、心からの善意で出てくるから余計モヤモヤしちゃうんですね。

男性である夫もモヤモヤとすることがありました。結婚当初、私が主に働いて夫が家で家事をしていましたが、何故か夫は「ヒモ」と言われてしまいました。面白がって言われている部分もあるんですが、でもこれは、男性が生活費を稼いで女性が家事育児をやっていると言われないことです。ここにも「らしさの圧」がかかっている。男は稼がなきゃいけないとか、男たるもの泣いてはいけないとか、そんな「男らしさ」の圧がまだまだあると思うんですね。男だから泣くなって、いや、泣きましょよ。弱音吐かないと孤立してもっと辛くなっちゃいますよ。

男女の他にも様々な属性に「らしさ」という枠があります。それぞれの中で、個人が好きだからやっているというのは全く問題ないですが、他者をそれに当てはめてしまうとモヤモヤさせてしまうことになるのかなと思います。



### 『家のトイレを掃除するのは…』

取材をした中に、共働きなのに妻が家事を全て担当していて夫が全く家事をしないというご夫婦がいました。こういうケースは結構多いと思います。募集した体験談にもこんな一言がありました。『なんで家のトイレを掃除するのは私だけなんだろう』 本当にそうですね、トイレって皆で使うものなのに。これはもうジェンダーギャップとしか言いようがない。最初から、女だから家事やるのは当たり前だと自分で「ジェンダーロール(性役割)」を内面化してしまっている人もいます。実際、家事が女性に向いているとか外の仕事は男性に向いているという科学的根拠はないわけですが、なぜこんなにも根強いのでしょうか。また、実家ではお母さんが全部やっていたから、というパターンも聞きます。実家がこうだったから自分たちも、というのは結構「再生産」されやすいものだと思いますが、最近はアニメや映画などでも女性や母親が外で働いている描写も増えてきていますから、多様な家庭のケースを見てどれが自分にしっくりくるのか、自分の中で考えてみることも大切だと思います。

同じ時間働いているけれど夫の方が稼いでいるので妻が家事をすることが当然と思っている、というケースもよく聞きます。これもおかしいですね。同じ時間働いても俺の方が稼ぎがいいからと家ではずっとテレビを見ながらビールを飲んで、その横で妻は料理をしたり子どもの世話をしたりする。それを当たり前と思ってしまうとやはり「不和」が生まれてくるのかなと。夫婦は対等の立場だと考えた時、その日いくら稼いだかではなくてその日どれくらい仕事をしたのか、外の仕事だけではなくて家事や育児も含めてお互いどれくらい時間働いたのか、そこをみていくことで本当の平等につながってくるのではないのでしょうか。

専業主婦の方も、自分が全てをやらなければいけないって思われている方も多いのかな。そういう圧もあると思います。専業主婦だからなんでもやらなきゃとなると、子育てもワンオペになります。私は児童虐待防止の活動もしていますが、追い詰められている人たちはワンオペで、一人で孤独。夫がいても孤独ということがあるんです。孤立して誰かに相談することもなく、追い詰められた先に虐待がというケースもあります。以前取材で、虐待をしてしまった親の回復プログラムをされている方が、虐待の要因は多種多様だけれど一つだけ共通しているのが「孤立」だとおっしゃっていました。孤立を防ぐことは本当に大切なこと。夫婦がお互いに、妻は無理をしてないかな？夫は無理してないかな？と気かけあったり、ちゃんと対等かな？平等かな？という思いやりの視点があれば、「ジェンダーロール」に振り回されずに考えていけるはずですが、その刷り込みは強すぎるんですよ、社会の中で。

## 改善へのヒントたち

ではどうやって改善していくんだとなると、頭を抱える方も多いですよ。1つのケースですが、先ほどの、夫側が全く家事をしない家庭はそれを乗り越えたというのでお話を聞いたところ、妻が「家事をしないことにした」そうです。自分の必要な分だけ、夫の分や共用部分があちゃぐちゃになってもそこを踏ん張って2ヶ月続けたところ、やっと夫が動き出しました。「家が腐敗していく」様子がわかったので、そこでやっと妻にばかり任せるのはおかしいと気付いたと。これまでは家事をやってもらっているという「罪悪感」もあり小言を言われないように逃げていた部分もありましたが、家事の大変さがわかり妻への感謝の気持ちが増した。それを受けて妻側も「夫が変わってくれた」と愛情も回復し、取材したときはとても仲のいい夫婦になっていました。

ほかにも取材した中で見えてきたヒントとしてはまず、お互いがやっている家事を「可視化」すること。最近ではアプリもあるんですよ。可視化をしている家庭はすごくスムーズに家事分担しているという印象があります。また、家庭内のジェンダー



ロール撤廃のキーワードは「罪悪感」です。家事をしない罪悪感を抱えたまま相手を見て見ぬふりしているよりも思い切って向き合ってみると実は一緒に家事をした方が精神的に楽であることを、家事をしない側が知っておくことがいいと思います。他にも、忙しい場合は週一でもいいから「外注」を検討してみる。「感謝を伝える」ことも大切です。夫婦間に上下関係を持ち込まないことも大切です。稼いでいるほうが上になってしまうと、関係性は支配する・される側になります。支配される側は意見を言えなくなっていきます。タテではなくヨコの関係でいることに気をつけていくこと。そして、取材の中で一番感じたことは、「話し合いができる関係性を作っておく」こと。悩みはどの家庭にもありますが、それを改善できるかどうかはやはり話し合いができるかどうかがとても大切です。まずは小さな議題から、コーヒーでも淹れながら、お互いの意見を尊重しながら2人で話をしてください。解決できるとそれが自信になって、さらに大きな話もできるようになります。

## 『あなたは悪くない』

最近では「ヤングケアラー（10代の介護者）」や男性介護にも光が当たってきていますが、介護も育児と同じように「ケア役割」として主に女性が無償で担ってきました。私も10年間の母の介護を経験しましたが、こどもやはり「自己責任論」から脱却しなければ、男女関係なくケアする側が本当に追い詰められてしまいます。また、家庭の中のジェンダーギャップと職場の中のジェンダーギャップは「地続き」で、どっちかだけという話ではなく、どちらにも続いている問題です。ジェンダーギャップは内面化すると、なぜか「自分が悪い」と思わされてしまう。私が女だからダメなんだ、俺が男なのにこんなこともできないからダメなんだと思わされてしまうということがあります。

そんな時まず大切なのは、「孤立しない」こと。女性も男性も、近くの分かってくれる人、この人だったら大丈夫という人に必ず相談をしてください。そこはそうじゃないよと他者の声で言ってもらうことが本当に大切なんです。孤立をなくして、自分の心をしっかりと守りながら、みんなで連帯しながら声をあげていきましょう。そして一番大切なのは「あなたは悪くない」ということです。ジェンダーギャップを感じてこれって自分が悪いのかなと思ってしまったら一回立ち止まってみて、これは社会が良くないんだよね。じゃあ変えていかなきゃいけないよね。でもその前に、私は傷ついているから回復のために一旦休んでみようかな、というご自愛。自分のことをケアしていいと思います。周りで悩んでいる人がいたら是非、途中でチャチャを入れず最後まで話を聴いて「あなたは悪くないよ、よく打ち明けてくれたね、頑張ったね」と声をかけてあげてください。

「自己責任論」で終わらせず、みんなで手をつないで“SOS”を出しながらやっていければいいなと思います。



いぬ やま かみ こ

### 犬山 紙子 さん (イラストエッセイスト)

仙台のファッションカルチャー誌の編集者を経て、家庭の事情で退職。20代を難病の母親の介護をしながら過ごす。

2011年、女友達の恋愛模様をイラストとエッセイで書き始めたところネット上で話題になり、マガジンハウスからブログ本を出版しデビュー。現在はTV、ラジオ、雑誌、Webなどで粛々と活動中。

2014年に結婚、2017年に第一子となる長女を出産してから、児童虐待問題に声を上げるタレントチーム「こどものいのちはこどものもの」の立ち上げ、社会的養護を必要とするこどもたちにクラウドファンディングで支援を届けるプログラム「こどもギフト」メンバーとしても活動中。

その反面、ゲーム・ボードゲーム・漫画など、2次元コンテンツ好きとしても広く認知されている。

開催日

2月6日  
日

## ヒトとゴリラと男と女 ～ゴリラから生き方を学ぶ～

多くの男性を苦しめていると言われている「男らしくあれ」の呪縛。令和3年度の男性講座では、その「男らしくあれ」の起源はどこにあるのかを人類の進化や類人猿の生態からアプローチすべく、霊長類研究の第一人者、山極壽一さんを講師にお招きし、お話しいただきました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で急遽オンラインでの開催となりましたが、オンラインになった距離感を感じさせない、内容の濃いお話をしていただきました。

講演は、ゴリラをはじめとする類人猿とサル類、そして人類の社会構造を「共感能力」に着目して比較するところからはじまり、オスとメス、大人と子どもが対等に生きているとされるゴリラ社会のこと、子育てという側面からのゴリラ社会と人間社会の比較についてお話しいただきました。特にお話の後半は、内容がさらに深まっていき、人間社会の進化・発展の中で共感能力がどう影響してきたのか、その進化・発展の中で男性の立ち位置はどう変化してきたのかについてなど、人類の進化から、戦争と平和、そしてアフターコロナの社会像といったところまで、私たちのこれからの生き方を考えさせられるような幅広い話題についてお話しいただきました。

最後の質疑応答では、「動物園に行ったらゴリラのどんなところに注目したらいいか?」といった質問も。そんな素朴な質問にも山極さんは誠実にお答えいただきました。2時間があっという間に過ぎるような、とても充実したひとときになりました。



※本講座とは別の講演会での写真です



## 母娘関係に悩む女性のためのグループ

開催日

全5回  
各水2021年 9月29日  
10月27日  
11月24日  
12月22日  
2022年 1月26日

母と娘の関係は、女性が抱える問題のなかでも大きなテーマの一つです。母との関係が自分の生きづらさにごうつながっているかに気づき、自分らしい生き方を考えていくグループを開催しました。講座の開催直前に緊急事態宣言が発出されたため、完全オンラインでの実施となりました。

参加者からは「今まで行き場のなかった気持ちを安心して話せたこと、また、同じ悩みを持つ方々と気持ちを共感し合えたことが何よりの救いになりました」「長年の孤独から解放されました。自責の念も軽くなりました」などの感想をいただきました。自分の思いを言葉にし、改めて考える貴重な機会になったようでした。

再度の実施を望まれる声も多く聞かれました。

## パートナーとの関係で悩んでいる女性のためのグループ

開催日 全12回

4月8日～3月27日  
木 木

夫や交際相手からのDVを受け悩んでいる方を対象とし、学んで語り合うグループを12回に渡って開催しました。

DVについて知識を身につけ、安心できる場所で自分の気持ちを語り合い、仲間と共感し合うことで奪われた力を取り戻していくことをめざしました。毎月異なる12の学びのテーマには、「DV・トラウマの理解」をはじめとして、「境界線」「子どもとDV」「夫としての未熟度チェック」などを取り上げました。最終回の3月は「自尊心」について学び、「卒業証書」のワークに取り組んでいただきました。「知識を身につけることの大切さを痛感しました」「同じ環境の方とお話できて自分を見つめ直す良い機会となりました」などの感想をいただいています。



## 臨床心理士による心理相談はじめました。

今年4月よりさまざまな要因で深刻な心理的不安や悩みを抱えている女性からの相談にお応えするため、電話による女性の臨床心理士による無料心理相談を開始しました。

【ご利用方法】 本誌裏面の「女性のための電話相談」にお電話ください。事前にフレンテみえ女性相談員が相談内容をお伺いしてから、希望や相談に応じて心理相談のご予約を承ります。

【相談時間】 毎月第2・第4水曜日 13:00から15:30【完全予約制】



# 事業予告

6/23~

## フレンテまつり2022 オンライン with謎解きゲーム ジェンダー城のナゾ!3

毎年恒例、フレンテみえの登録団体の発表の場である年に1度のフレンテまつり!今年は前年同様、オンライン開催となります。

フレンテみえホームページ内にある「フレンテまつり特設サイト」の中で、フレンテみえ登録団体の皆さんの活動発表を見たり、昨年大好評だったオリジナルの謎解きゲームに挑戦したりすることができます。

楽しみながら男女共同参画について学べる、謎解きゲーム「ジェンダー城のナゾ!」は第3弾となり、さらに新しい問題をひっさげて登場!小学生くらいのお子さまから大人まで、家族みんなで楽しめる内容になっています。全問クリアの方には景品を進呈予定。ぜひチャレンジしてみてくださいね!

家族みんなで楽しめるフレンテまつり。特設サイトは6月23日に公開予定。公開期間中は、登録団体の皆さんによるオンラインワークショップも実施予定です。フレンテみえホームページ等で随時情報をお知らせしていきますので楽しみに待っていてくださいね!



8/21

アソボ・マナボ・タノシソウブン

## みんなの描いた絵で“自分らしさ”の森をつくろう ~フレンテみえの絵本「みっちときりー」の世界~

フレンテみえの絵本「みっちときりー」の世界をみんなでつくってみよう!身体を使ったワーク(※)をしたり、絵本の読み聞かせをきいたりしたあと、「みっちときりーのおともだち」を描いてみよう。みんなの絵を集めていくと、どんな森ができあがるかな?

(※)身体を使って感覚を開くお子様向けのマインドフルネスワークを行います。



©tamaki nao

ファシリテーター: KYO

絵本「みっちときりー」のイラスト制作者。イラスト・デザイン制作のほか、マインドフルネス及びセルフ・コンパッション講師としても活動。

絵本読み聞かせ: なりかわちほ

日時 8月21日(日)

- ①10:00~  
対象年齢の目安:4~7歳くらい 要事前申込
- ②14:00~  
対象年齢の目安:7~9歳くらい

会場 三重県総合文化センター内  
文化会館 2階 第1ギャラリー

定員 各回20名  
事前申込制(申込者多数の場合抽選)

申込締切 7月31日(日)必着

参加無料

8/11

女子中高生のためのウェブサイト制作コース

## WaffleCamp×ホームタウンin三重 コード×好きなことで可能性無限大!

「ITは興味があるけど、私にできるかな。」

自分の将来を考え始めている女子中高生におすすめのプログラミング講座を夏休みに開催します。

この講座は、Waffleに所属する女性エンジニアや、理系女子大生が講師やメンターとなり、ウェブサイト制作を学ぶ1日完結型のオンライン講座です。未経験者でも安心の少人数クラスで2人の生徒に1人のメンターがつくので、自分のペースで学べます。IT分野で活躍するエンジニア女性のキャリアトークも有り!自分の好きなウェブサイトを作って、自己表現の楽しさを体験してみませんか。



Waffleとは?

ミッションは「IT分野のジェンダーギャップを教育とエンパワメントを通じて是正する」主に女子中高生向けのIT教育のプログラム運営や社会への普及活動をおこなっている団体です。

日時 8月11日(木)祝

13:00~18:00

会場 オンライン

対象 三重県在住・在学的女子中高生  
ただし、英文タイプができること

※からだの性を問わず、女性アイデンティティをもつ方、ノンバイナリー、GENDER NONCONFORMINGなどの方も対象としています

参加費 無料

(パソコンとWiFi環境が必要です。準備が難しい場合はフレンテみえに來所して受講いただくこともできます。)

定員 10名程度  
事前申込制(申込者多数の場合抽選)

申込 Waffleへ直接お申込みください  
7月13日(水)締切

※事前学習があります。詳しくはフレンテみえHPでご確認ください。

参加無料

要事前申込



# 事業予告

7/3

## わたしたちの<もやもや>を考える vol.1 おかね編 おひとりさま女性がハッピーに生きるために

結婚するつもりはない。でも、ひとりの老後はちょっと不安…  
シンママ頑張ってるねって褒められる。でも、思うようには働けてない…  
仕事は毎日忙しい。でも、このまま派遣を続けていけるのかな…  
本当はすぐに離婚したい。でも、経済的に自立できる自信はない…



結婚しないのも、子どもを産まないのも、女性の生き方はそれぞれ。そうはいつても、女性が自立して自由に生きて、そんなにカンタンじゃない?特に、おかねに関する不安は、いつでもどこかにある。そんなこと、ありませんか?この講座では、そんなおひとりさま女性のおかねに関するリアルな<もやもや>をピックアップしてお話いただけます。ファイナンシャルプランナー・行政書士の先生と一緒に、しなやかに生きるためのライフプランを考えてみませんか?みなさまからの<もやもや>も募集中です。

日時 7月3日(日)  
13:30~15:30

会場 三重県総合文化センター内  
男女共同参画センター3階 セミナー室C  
対象 テーマに興味のある女性  
定員 30名  
講師 辻本由香さん(ファイナンシャルプランナー)  
岡本綾さん(行政書士)  
稲垣裕子さん(ファイナンシャルプランナー)  
ファシリテーター:山田知美さん  
(NPO法人三重はぐくみサポート・55カフェ代表)  
託児 あり 要事前申込 無料  
0歳6ヶ月~小学3年生程度  
託児申込締切6月19日(日)

参加無料

要事前申込

7/9~

## 種まきプロジェクトⅢ“社会の課題”編 子どもたちを暴力の加害者にも被害者にも傍観者にもさせない デートDV防止プログラムファシリテーター養成講座

親密な関係へのDVについて、国の調査では結婚している女性の4人に1人が被害にあっているという結果が出ています。ただ、これは大人だけの問題ではなく、若い人たちの間でも広く起きていて、三重県のアンケート調査でも交際経験のある女性の3人に1人が被害経験ありと答えています。

交際相手と対等な関係を作ることや相手を尊重すること、暴力についての正しい知識を若い世代に広めていくプログラムのファシリテーターをめざしてみませんか?この講座は講義を聞くだけでなく、動画を見たりグループで話し合ったり発表したりとさまざまな方法でファシリテーターに必要な基礎を学びます。

6日間すべての日程に参加すると  
アウェアのデートDV防止プログラム・  
ファシリテーターの認定資格が得られます。認定を受けると教材を受け取り、地域で活動することができます。(別途認定料が必要です)

子どもたちのために、次世代のために、ぜひご参加ください。

おもな講師



山口のリ子さん 加藤伊都子さん 中谷奈央子さん 斉藤章佳さん

日時 7月9日(土)・10日(日)・30日(土)・  
31日(日) 8月20日(土)・21日(日)

9:30~16:30  
会場 三重県総合文化センター内  
生涯学習センター2階 視聴覚室ほか  
対象 三重県内在住・在勤・在学中で、6回すべてを受講できる方  
デートDV防止プログラムファシリテーターとして活動できる方  
参加費 6,000円 U30(30歳未満)は無料  
定員 10名程度  
おもな講師 山口のリ子さん(アウェア代表)  
加藤伊都子さん(フェミニストカウンセラー)  
中谷奈央子さん(思春期保健相談士)  
斉藤章佳さん(精神保健福祉士) ほか  
託児 あり 要事前申込  
1歳6ヶ月~小学3年生程度  
子ども一人につき500円  
託児申込締切6月25日(土)

6/4~

## 三重県内男女共同参画連携映画祭2022

今年で16年目を迎える、毎年好評の「三重県内男女共同参画連携映画祭」。「映画でみつげよう!男女が共に生きるヒント」をテーマに、県内の男女共同参画センターと市町が共同し、県内16会場で開催します。男女共同参画をより身近に感じていただけたらと、作品の見どころや内容を深めるためのお話など、その他イベント(一部で実施)も予定しています。チケットの取扱い方法や受付開始日は会場ごとに異なりますので、お気軽にお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしております!

開催地・開催日・上映作品

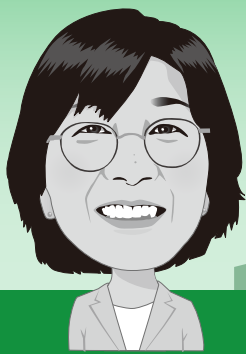
鈴鹿市 6/4(土) 『ウルフウオーカー』※受付終了しました  
亀山市 6/12(日) 『梅切らぬバカ』  
南伊勢町 6/18(土) 『最高の人生の見つけ方』  
四日市市 6/26(日) 『老後の資金がありません!』  
伊勢市 6/26(日) 『お終活一熟春!人生、百年時代の過ごし方』  
明和町 7/2(土) 『長いお別れ』  
松阪市 7/9(土) 『お終活一熟春!人生、百年時代の過ごし方』  
伊賀市 8/20(土) 『アラジン(実写版・日本語吹替・字幕あり)』  
紀北町 8/21(日) 東紀州地域開催『四十九日のレシピ』  
東員町 9/24(土) 『お終活一熟春!人生、百年時代の過ごし方』  
鳥羽市 11/5(土) 『女たちの都一ツゲンオツゲン』  
志摩市(8月)、多気町(11月)、桑名市(11月下旬)、津市(1月) など



三重県内男女共同参画  
連携映画祭  
2022

最新情報はこちら





フレンテみえ所長の荻原の「紹介したい企業」シリーズ。今年度は、男女共同参画の視点をもって様々な取組をすすめている三重県内の企業さんを、4回にわたってご紹介してまいります！

フレンテ所長  
荻原くるみの

# 紹介したい企業!

## 第1回 株式会社山下組(三重県志摩市)

株式会社山下組は、三重県志摩市にある従業員約60名の総合建設業。公共工事などの土木からマイホーム建築やリフォームまで幅広く手がけています。これまで、「三重の働き方改革推進企業表彰(平成29年度)」や経済産業省の「新・ダイバーシティ経営企業100選(令和元年度)」、そして今年の3月には、社内の仕組みを変えることで女性の活躍につながった事例を表彰する三重県の「チェンジ・デザイン・アワード2022」において準グランプリも受賞。「人を大切にする企業をつくる」という方針のもと、様々な取組を進めています。代表取締役の山下信康さんと、工務部主任の山本貴子さんにお話をうかがいました。

チェンジ・デザイン・アワードの受賞の際、「会社は人である」ということに気づいたとお話されていましたが、どのようなことからそうお考えになられたのですか。

総合建設業は通常「現場監督さん」とスタッフを中心に業務を行っていますが、山下組の従業員には「職人さん」もいます。職人さんは高齢化も進んでいますし、公共工事が少ない時期などをきっかけに仕事を離れてしまうことも多く、また若い職人さんも他業種へ移るとなかなか戻ってきません。今は大丈夫でも、将来のことを考えると深刻な人財不足です。募集広告など外側へコストをかけても状況はあまり変わりませんでした。ならば、内側にコストをかけるべきではと。今いる従業員のため職場環境や待遇の改善にコストをかけて喜んでもらえれば、それが業績向上だけでなく新たな雇用にも繋がるはずと考えたんです。人を大切にしてこそ、100年の歴史をもつ山下組が次世代へ繋がっていく。

さらに気づいたのが、女性の存在。「建設業は男性」という固定観念にとらわれず、女性にも加わってもらえればと考えました。世の中の半分は女性ですし、一度都会へ出た女性が事情で地元に戻ってきたときの受け皿としても意義があると考えました。ただ、建設業が社会に貢献している企業として捉えられていないようなイメージもあるようなので、今もいろいろ地道に話をしながら進めています。

山下組さんでは女性の従業員を全員、パートではなく正社員として採用されていますね。

女性の従業員は10名で、現場監督さんも2名います。時短勤務制度がない時代から、育児中でパート勤務を希望した女性にも、保育所への送迎に合わせた勤務で構わないから正社員でと言っていました。育児は子どもがある程度大きくなるまでのことですし、時短勤務の方が仕事も子育ても効率よくやりくりし濃密な時間になり、フルタイムに戻った時にすべての経験が活きてきます。業務が期限内に間に合わなければ誰かがフォローすればいい。そんなふうに、将来のことを考えて正社員で採用しているということです。

男性従業員も、学校行事や冠婚葬祭などプライベートを理由とした休みを割と自由に取得できますが、それは制度を作る前からやっていたことです。従業員が柔軟に働けるように続けてきたことが時代にマッチしたのか、いろいろな受賞にも繋がりました。女性社員からの要望で、女性特有の病気の検診のための助成も始めました。いろいろなプログラムから選べて、無料で受診できるんです。

女性が働きやすい職場は、男性にとっても皆にとっても働きやすい職場ということですね。ではさいごに、皆さんの名刺にも載っている「転生 Reincarnation」について教えてください。

これは、2016年の創業100周年を機に、次の100年に向けた新たな山下組をめざして掲げたものです。Reincarnation(リ・インカーネーション)は「生まれ変わり」という意味で、実際にそれを掲げたころから山下組は変わってきました。

これからも、男女の仕事の別をなくすための取組はもちろんですが、中国、ベトナムなど様々な国から山下組に加わってくれた仲間を含めたすべての従業員にとって働きやすい職場づくりを進めながら、ボランティアや防災減災などの取組も通して地域にお住まいの皆さんにとっても、関わる「すべての人」を大切にする企業として努めていきたいと思っています。



中央が社長の山下信康さん、右が山本貴子さん。左はフレンテみえ所長の荻原。



### 株式会社山下組

〒517-0703 三重県志摩市志摩町和具799番地2  
電話 0599-85-0431, 0120-35-0431  
ホームページ <http://www.ymstg.co.jp/>

社長がダイエットで通っていたプールのある施設で偶然出会った、志摩市滞在中の似顔絵師さんに描いてもらった似顔絵。

親しくなり、山下組で初めてマイホームを建てるときの手順のイラストも描いてもらったそうです。

ホームページでは「ぬり絵」をダウンロードできますよ。

第1回

# フレンテみえではこんなこともやっています オリジナルの絵本をつくりました

小さなお子さんをお持ちの方、お家でジェンダーに関する話をすることはありますか?実は、幼児期はジェンダー形成期。いろいろなことを素直にぐんぐん学んでいく中で、ジェンダーに関する刷り込みも、新しい“知識”として疑いなく学んでしまうのです。

そんな小さなお子さんに向けて、フレンテみえオリジナルの絵本を作りました。

主人公の「みっち」はミツバチの男の子。カマキリの「きりー」から、男らしくないことを指摘されて落ち込んでしまいます。考え方も好きなものも全然違う2人が、それぞれの気持ちを尊重して分かり合えるには、どうすればいいでしょう。

私もさっそく、子どもと一緒に読んでみました。普段からジェンダーを意識することのない子育てを心がけてはいるのですが、3歳頃から「男の子の色は嫌い。ピンクがいい!」「男の子は女の子を守ってあげるんだよ。」などと言うようになっていました。絵本を何度か読むうちに、「好きなことは友達と違っていてもいいんだよ。」などと、少しずつ変化が見られます。

これから生きる子どもたちには、ジェンダーによる決めつけではなく、好きなものは「好き!」と言ってもらいたいと思います。そのためには、まずは大人が大人自身の「自分らしさ」を認めないといけないのかもしれない。小さなお子さんも、大人の方も、よろしければフレンテみえの絵本、読んでみてください。

## フレンテみえの絵本「みっちときりー」



インターネットから読めます。  
デジタルブックを読んで感想を送っていただくと、  
絵本をプレゼント(数量限定)しています。



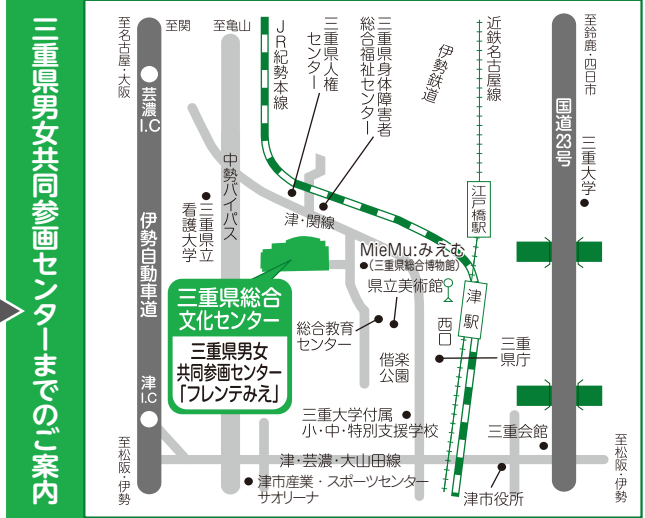
このコーナーでは、イベントや事業ではないフレンテみえの隠れた(?)取組について、スタッフの目線でご紹介していきます。気軽に読んでいただきながら、知られざるフレンテみえを発見していただけたら嬉しいです。次回もお楽しみに。

## フレンテみえって、なに?

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流および人材育成の「6本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください!

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ



休館日 毎週月曜日  
年末年始 (12月29日から1月3日まで)  
交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分  
■徒歩/津駅西口から約25分  
■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分  
※駐車場は1400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 三重県総合文化センター  
三重県男女共同参画センター フレンテみえ  
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地  
TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135  
URL http://www.center-mie.or.jp/frente/  
E-mail: frente@center-mie.or.jp

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど...  
男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ相談室 専用ダイヤル 059-233-1133

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00~12:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00~15:30	休館日	●	●	●	●	●	●	●
夜 17:00~19:00	※	●	●	●	●	●	●	●

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

フレンテみえ相談室のご案内  
(切り取ってご利用ください)

\*このほか、女性のための面接相談・法律相談・心理相談と、男性のための電話相談「みえ」にしている相談を実施中。詳しくはお問合せください。



再生紙を使用しています。